

府内市町村の動き



泉大津市

- 泉大津市は、災害時に要援護者を支援するため、「要援護者支援マップ」を作成した。

これは、洪水や津波などの災害予測データと要援護者の居住地などを組み合わせたもの。

希望があった市内8自治会を対象に試験的に作成し、同意を得た約200人のデータを掲載している。

マップのデータは各自治会が管理し、要援護者の支援体制確立に向けて検討を行いながら、マップ上に避難誘導路や危険箇所などの情報を更新していく。

市ではこの取組を通じて、地域の中で要援護者が安心して暮らせる仕組みを創っていきたい考え。



高槻市

- 高槻市教育委員会は、「学校給食レシピ集」をホームページで公開している。

これは、実際に献立になったメニューの中から、市民の関心の高そうなメニューや新作を選んで、材料や作り方の手順などを紹介するもの。

市ではこの取組を通じて、学校給食や食育への関心を高めたい考え。



泉佐野市

- 泉佐野市消防本部は、独自のマスコットキャラクター「Qちゃん」を活用して、救急車の適正利用を呼びかけている。

これは「Qちゃん」と救急車の適正利用のお願いが掲載されたマグネットシートとポスターを市内のコミュニティバスなどに掲示するもの。

市では、救急車の出動件数が10年前の約1.5倍

に上昇したのに対し、入院を必要としない軽症者が約1.7倍に増加している。

市ではこの取組を通じて、救急車の適正利用をPRしたい考え。

泉佐野市消防本部救急マスコットキャラクター「Qちゃん」



河南町

- 河南町は、5月にエコアクション21の認証を府内市町村では初めて取得した。

これは、環境省が策定したガイドラインに基づいて、財団法人地球環境戦略研究機関が認証・登録するもの。町では、環境にやさしいまちづくりを目指して、地球温暖化防止対策の推進や持続可能な循環型社会の構築などに取り組んでいる。

町では、認証取得を契機に、「河南町 まちづくり元年」としてさらに環境にやさしいまちづくりを目指したい考え。

全国の市町村の動き



新潟県妙高市

- 妙高市は、「子育て安心はがき」の送付を始めた。

これは、育児中の母親支援策として行うもので、子どもが満一歳になるまで毎月送付する。このはがきでは子どもの月齢に応じた発育の特徴や育児に対するアドバイス、相談機関の連絡先などを紹介している。

市ではこの取組を通じて、育児中の母親の育児負担や不安感の軽減につなげたい考え。



和歌山県印南町

- 印南町は、6月から住民票の宅配サービスを開始した。

これは、高齢者世帯や障がい者らを町職員が訪問し、住民票や印鑑証明を交付するもの。希望者は事前に電話やFAXにより申請し、町が内容を審査した後、サービスの対象となるかどうかを決定する。

町ではこの取組を通じて、外出に不便を強いられている住民の負担を軽減するとともに、住民サービスの更なる向上を図りたい考え。



兵庫県たつの市

- たつの市は、大型ゴミとして捨てられた自転車を修理し、公用自転車（通称：エコチャリ）として再利用している。

これは、庁舎から2 km以内の出張に際して、自動車ではなくエコチャリを利用することで、公用車の燃料費削減とCO₂排出量の削減を図るもの。

エコチャリを導入した4月から2ヶ月間の燃料削減効果は、ガソリン約40リットル、CO₂約100kgにのぼる。

市ではこの取組を通じて、地球環境の保全、さらに職員のメタボ対策へつなげたい考え。



熊本県玉名市

- 玉名市は、市広報紙の特別号「ふるさと玉名市の今」を作成した。

これは、2005年10月に1市3町が合併して誕生した同市の「今」を、県外在住の市出身者に知ってもらうために作成し、送付するもの。誌面では、3年後に開通予定の九州新幹線「新玉名駅」駅前周辺整備などの取組や季節の風物を紹介している。

市では、この広報紙をきっかけに、ふるさとへ里帰りしてもらい、定住者の増加につなげたい考え。